



来週の投資戦略 (2/3-7)

底は見えてくるか？

2020年2月2日

小松 徹

注目事項 - 見所

日米企業決算 - 期待値は下がりつつあるが、・・・
2月7日、1月の米雇用統計 - やや弱くなるか？

株式市場見通し

来週のが国株式市場は底が見えてくるか、あるいは経済の先行き不透明感と恐怖心が拭い去れないか。先週の動きに限ると日米ともにアナリスト、投資家を驚かす好決算銘柄には投資が集中したことだった。先週はわが国では中外製薬(4519)と富士通(6702)が、米国ではマイクロソフト(ハイテク大手)とアマゾン(ネット販売最大手)が、最も典型的な例となった。したがって、来週も景気悪化の材料が豊富な中、恐怖心で見送り続けるか、あるいは好決算を示す強い企業中心に投資するか、考え所だ。

来週わが国で注目される決算は火曜日のHOYA(7741)、ソニー(6758)、水曜日のPPIH(7532)、木曜日のトヨタ自動車(7203)、資生堂(4911)など多い。HOYAは12四半期連続税前利益の増益が続いており、10-12月期もアナリストは5%増益を見込んでいる。一方、ソニーは10-12月期に営業30%超の減益が予想されているが、年間では2%減益まで戻ると期待されている。PPIHとはドン・キホーテの持ち株会社だが、10-12月期に会社計画通り3割近い営業増益になるか。トヨタの10-12月期営業利益は8%程度減益になるとアナリストは予想しているが、現時点で年間3%弱の増益に回復すると期待している。しかしながら、現在の中国での生産計画などを考慮すると会社計画の2.7%減益も難しいだろう。期待度はすでに低下しているはずだ。資生堂は10-12月期の利益は小さいので、投資家の関心は今期業績予想に現在の不透明感をどこまで織り込んでいるか。社長の言葉を聞くのが一番だろう。

米国では月曜日のアルファベット(グーグルの親会社)、水曜日のクアルコム(半導体機器)などに注目している。ここではアナリスト予想と昨年一株当たり利益(EPS)についてみておこう。アルファベットはアナリスト予想が上下ともに大きく外れることが多く、今回はほぼ横ばいと見ており、来四半期も同様だ。クアルコムは10-12月期3割減益と予想されているが、来四半期は11%増益予想となっている。当社は過去4四半期連続してEPSが予想を10%以上上回って推移してきたことも好材料だ。

最後に注目すべき経済指標等について。わが国では重要な経済指標の発表はないが、米国では月曜日に1月のISM製造業景況指数、金曜日に1月の雇用統計が発表される。先週発表のGDP成長率のように米国経済のやや軟調な点を示すかもしれない。米長期金利の急低下がすでにそこまで見越しているようにも思える。来週月曜日に好決算銘柄として元気なのはTDK(6762)とKDDI(9433)などだろう。

KPAの投資戦略

ロング(買い)	ショート(売り)
好財務の割安株、来期二桁増益株	高PB低位株、高PE新興株

(注) ヘッジ・ファンド向け戦略としての一例。投資期間は半年程度を想定。



本レポートは、情報提供の目的のみでご利用者に提供されるものであり、有価証券売買に関する何らかの申し込みまたは勧誘を意図するものではありません。本レポートに記載されるすべての意見および予測は、レポートの日付時点におけるコマツ・ポートフォリオ・アドバイザーズ(以下、KPA)の判断であって、予告なしに変更される場合があります。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析がすべてのご利用者にとって適切であるとの表明を行うものではありません。ご利用者は、投資に伴うリスクとメリットがご自身にとって適切であるかどうか、自己の責任で判断して頂きます。KPAは本レポートについてその正確性、完全性または適時性を保証していません。KPAはいかなる保証も行わないことを明確にしています。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析にご利用者が依拠した結果として被る可能性のある直接的あるいは間接的な損害について責任を負いません。本レポートについての知的財産権はKPAに帰属し、著作権、特許権、商標権その他の知的財産権に関する法令により保護されています。本レポートを印刷した場合も、その印刷物の著作権は、KPAに帰属します。ご利用者は個人的利用を目的としたバックアップのためにのみ印刷、複製することができます。プリントアウトした印刷物や複製したデータを、個人的利用以外の目的で使用することはできません。ご利用者は、本レポートを、有償・無償を問わず、第三者に提供することはできません。また、これを改変、修正することはできません。本規定にご利用者が違反した場合、KPAは金銭的な損害賠償を含む救済手段を請求する権利があります。本レポート執筆時点で、KPAの役員あるいはお客様はソニーあるいはKDDIを保有しています。

©2000－2020 Komatsu Portfolio Advisors Co., Ltd. All rights reserved.